

1年 国語 単元名「のりもののことをしらべよう」(13時間)

1 単元設定の理由

本単元では、船について本を読み、体験を通して調べたことをカードにまとめる。この活動を通して、書かれている内容を事柄ごとに正しく読み取り、まとめる力をつけるとともに、体験したことを必要な言葉を使って適切に書く力をつけたい。児童にとって身近な船という題材を生かし、児童が情報活用の必要性を感じ、主体的に学習に取り組むことを期待する。

2 単元目標

船について書かれている内容を事柄ごとに正しく読み取り、他の本で読んだり、体験したりしたことをまとめることができる。

3 単元の評価基準

船に興味をもって、教材文を読んだり、調べたりしようとしている。(国語への関心・意欲・態度)
事柄の順序に気をつけて、内容の大体と文章の構成を読み取っている。(読む能力)

船の「やく目」「つくり」「できること」を表すだいたいの言葉や文を見付けながら読んでいく。(読む能力)

好きな船について調べるために、船について書かれた本や文章を読んでいる。(読む能力)

読んだり見学したりした船の特徴が伝わるように、語と語のつながりを意識しながら、カードに整理して書いている。(書く能力)

主語と述語の関係に注意して文章を読んでいる。(言語についての知識・理解・技能)

4 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1	学習の見通しを立てる ・題名や教科書の写真を手掛かりにして、船について知っていることを話し合い、課題を確認する。	図鑑などの船に関する本を紹介し、授業の中やそのほかの時間で取り組んでいくことを伝える。
7	「いろいろなふね」(教材文)を読んで、読み取ったことをカードにまとめる。 ・「いろいろなふね」と平行して他の船について書かれた本を読んでいく。 ・読んで書き抜いたことをもとにカードにまとめる。 ・説明に使われている基本的な文型を押さえる。	写真と文章を対応させながら読み取らせる。
2	ほかの本や文章を読んで好きな船について調べ、カードにまとめる。 ・これまで読んできた本の中から活用する本を選び、書かれていることを読み取る。 ・「いろいろなふね」で作ったカードと同じように他の船について調べたこともカードにまとめる。	本が選べない児童については、個別に本を紹介する。
2	海上保安署を訪問し、海上保安船を見学して調べ、カードにまとめる。 ・海上保安船についてわかったことをカードにまとめる。	「やく目」「つくり」「できること」についてカードにまとめさせる。
1	調べたことを互いに読み合い、感想を交流する。 ・調べたことをカードにまとめることができたか振り返る。	よかったところや気付いたことを話し合わせる。
外部連携 / 教材等 気仙沼海上保安署		